

失ってしまうと考えられる。EV 車は台数は少ないものの、年々普及率を上げてきている。よって、フタバはいずれかは競争優位性を失うといえる。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

フタバが掲げる目標として、自ら考え行動することがあったが、これは人的資本の価値を向上させる要因となりうると考える。フタバは、「従業員一人ひとりの成長が企業の発展につながる」という考えを持っており、新入社員の教育体系の整備を行っている。また、ものづくり力を高めるための技能大会を社内で開催するなど、技術者育成を行っており、社員が自身の人的資本向上に取り組める環境がある。

5. 報告書にはどのような改善余地があるか

統合報告書を読み、フタバは見えざる資産の可視化ができていると実感した。ただ、政府が目指す 2035 年までに新車販売での EV 車 100% についての言及があれば、投資家も今後の投資先としての検討がしやすくなるのではないかと考えた。主要事業である排気系部品が将来競争優位性を失う危機にあるため、なおさら投資家やステークホルダーにとって必要なのではないかと思った。フタバは高い技術力を有しており、また新たなことに挑戦することを表明しているのだから、既存の産業に固執せず、新規事業への参入をするなどといった記述もあっていいのではと思った。また、グローバル社会が進展していることから、中期経営方針であるグローバル企業化への具体的な説明がもっと必要だと感じた。